

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(10/21)

武田壽夫(文、写真)、倉谷(写真)、山 國(写真)

日 時：2018(平成 30)年 10 月 21 日(日) 9:30～15:30

気 象：天候=晴れ (気温：15℃)

活動エリア：44 林班い、45 林班ろ-04・に-03 ほか

活動内容：台風の後始末 ほか

参加者：(会員)泉家恵子、斧田一陽、小櫃徹夫、金井良碩、倉谷邦雄、薦田佳一、黒山泰弘、

杉本佳英、武田壽夫、福西勇之助、山田眞也、山 國

(体験)大本孝子

計 1 3 名

<”朗報”相次ぐ>

台風禍から 4 回目の活動日、まだまだ復旧には前途ほど遠しの思い。一方で、今日は前回入会の山田さんに続いて福西さん(入会)、大本さんのお二人が新たに加われ、まこと心強いこと。聞けばトレイルラン仲間 PONPON 山からのこのルートも訪れるとのこと。当「森林づくりの会」は、日頃から山に親しんでいる人達がより楽しめる場所へと力を出し合う場、参加者の年齢・体力・仕事はマチマチ、「出来ることを出来る時に」を合言葉に息長く活動を続けたいもの。

今日は旧暦 9 月 13 日の十三夜、秋本番を迎え、先ずは昨年設定したモニタリング調査区の整備を再興出来るよう、里道、作業道の修復を進めていこう。作業靴・安全帽・鋸替刃と備品の追加も朗報。

自然歩道は管理者の手が徐々に入っているのが伝わるのか、親子連れ、ボーイスカウトの一団等々、山もようやく賑わいが戻ってきた。とはいえ、手入れは「取り敢えず通れるように」の域に止まらざるを得ないと思われ、入山の方々は足下、頭上、呉々も十分なご注意を。

<今日も 3 班編成で出発>

山頂尾根に 5 人、「44 林班」内の水源地を巡る作業道に 4 人、初参加の 2 人を含む 4 人は「45 林班」の巡視に、と三組で出発。途中、目についた「やり残し」には出来るだけ整備を心掛けるのはいつもの通り。台風からは一月半、あちこちで玉切り自然歩道や水源地への里道など、管理者の手も入るようになり、天狗杉前の倒木の重なりもヒト一人ずつは通れるようになっていた(写真③)。

<成果>

山頂のモニタリング調査区へのルート整備は約 50m を前進(写真⑤⑥)、何とか調査区に到達。水源地組は仕残された根っこ切りや倒木処理しながら進み両水源地中間の尾根のモニタリング調査区へ、ただ、作業道を前方に開くことは断念(写真⑩)、45 林班南部を廻った巡視組も仕残した倒木を片付けた。

<山だより>

郡上八幡の井上会員からは台風の置土産(被害木で作られた薪の山)、黒山会員は秋の菅平の雲、本山寺では「リス?の食卓」とマムシ草。

(本文 以上)

① : 今日も無事”作業終了”



② : ①のお名前

(左から-敬称略)

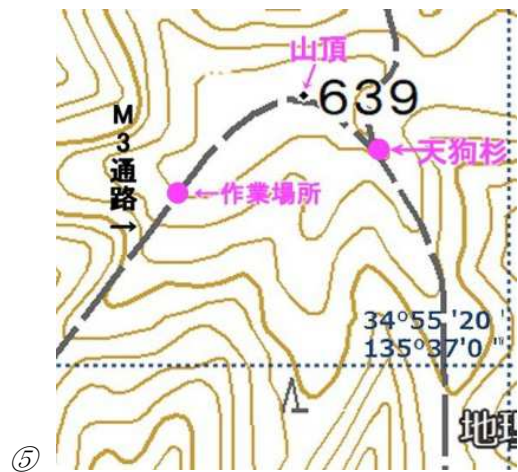
後列 : 大本、倉谷、小櫃、山國、杉本、泉家、斧田

前列 : 武田、黒山、金井、薦田、山田、福西

③ : 通り易くなった天狗杉付近



④ : 山頂部要図(山國作図)



⑤ : 倒木を片付ける(山頂部モニタリング調査区手前)



⑥ : ⑤の作業後-チェーンソーの活躍で前進が可能に



⑦ : 画面中央の倒木を処理する(山頂部)



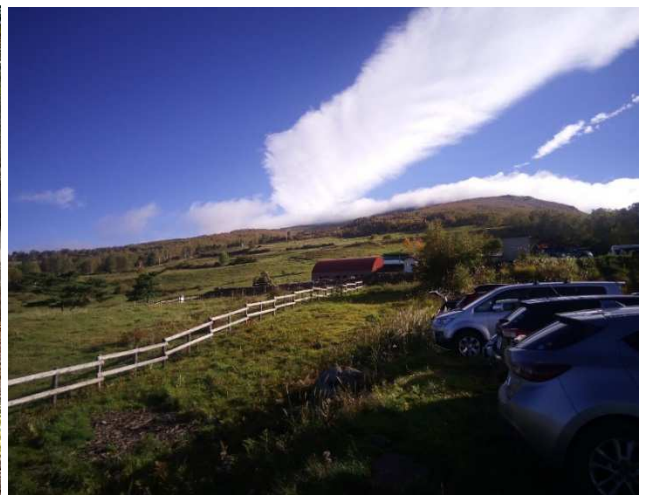
⑧ : ⑦の作業後(足元に陽が差しこむように)



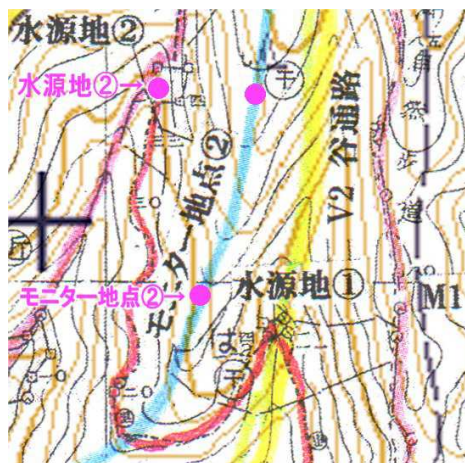
⑨ : 被害木で薪の山が(郡上八幡の井上会員)



⑩ : 菅平秋景(黒山会員)



⑪ : 水源地要図(山國作図)



⑫ : 邪魔な根を始末して作業道を通り易くする



⑬ : 地中に食い込み道を塞ぐ巨木の根の始末



⑭ : 除去完了。これで水源地②までの全線開通



⑮ : 水源からの引水管(仮復旧済み)



⑯ : モニタリング調査区の 200m 前方尾根は倒木が重量



⑰ : 今日もお疲れ・リスがモミの実を食べた?



⑱ : マムシ草

